

# 地域新成長産業群創出事業における 健幸支援情報基盤の構築



2012年 7月 19日  
株式会社 STNet

## ■ 事業の目的

健幸支援情報基盤推進事業は、現在の健康・医療サービスにおいて、事業者間、分野間でバラバラに管理・運用されている情報を連携させ、より効果的に活用できるプラットフォーム(=健幸支援情報基盤)を構築し、地域医療の高度化及び住民の健康増進と、これらを支援する健康関連産業の創出を目指すものである。

(平成23年度健幸支援情報基盤推進事業「成果報告書」より抜粋のうえ編集)

## ■ これまでの経緯

### 【H22年度】

四国経済産業局の地域新成長産業創出促進事業(地域新成長産業創出事業)

- ✓ 標準規約検討委員会の開催(事業企画書の作成)
- ✓ 健幸支援情報基盤の基本設計

### 【H23年度】

四国経済産業局の地域新成長産業創出促進事業(地域新成長産業群創出事業)

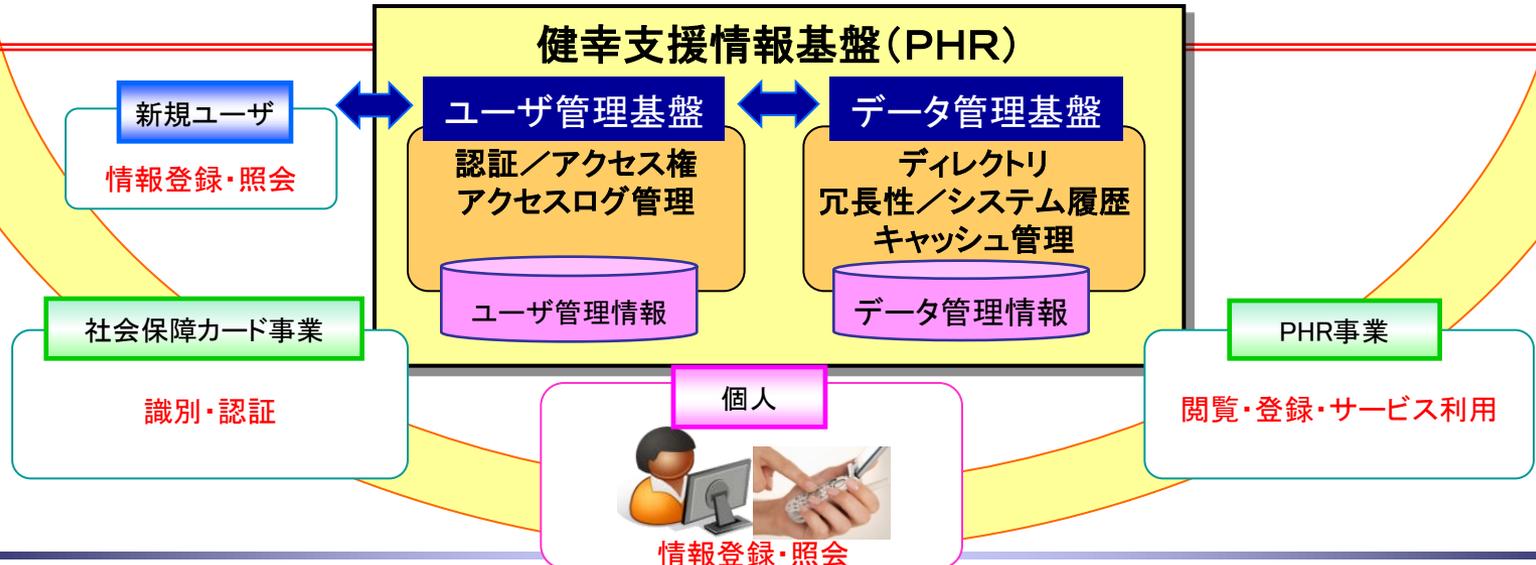
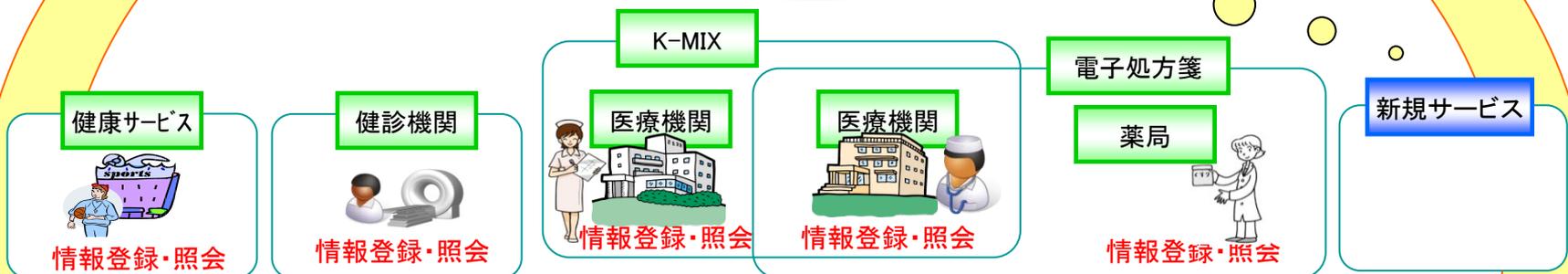
- ✓ 健幸支援情報基盤の構築
- ✓ 事業化検討会の開催(サービスモデルの検討)

# 1. 健幸支援情報基盤推進事業の概要

## 事業全体概要図

### 健幸支援情報基盤推進事業

今後、医療・健康情報の活用が見込まれる分野や業種、機関等



### ■ 健幸支援情報基盤の機能概要

情報基盤として必須の機能・提供すべき機能は以下の通りです。

#### ① 利用者識別(ユーザ認証)

利用者の厳格な本人識別をした上でFeliCaポケットを使用したICカードを発行し、FeliCaポケット内に暗号化して格納されたID情報を利用したチャレンジレスポンス方式によるログイン認証を実施する。

#### ② 認証連携(ポータル)

利用者識別から継承された認証情報を元に利用者向けのポータル機能(サービス画面・サービス選択・ID連携)を提供する。また、サービス事業者による利用者情報の参照権限の制御や参照記録などのセキュリティログの確認を可能とする。

#### ③ PHRへの情報格納

個人の健康・医療情報はPHRに格納し、利用者はサービス画面からPHRのデータの照会・更新などが可能となる。また、情報提供元(サービス事業者)から提供されたデータについても格納可能とする。

#### ④ 認証連携をベースとした情報連携

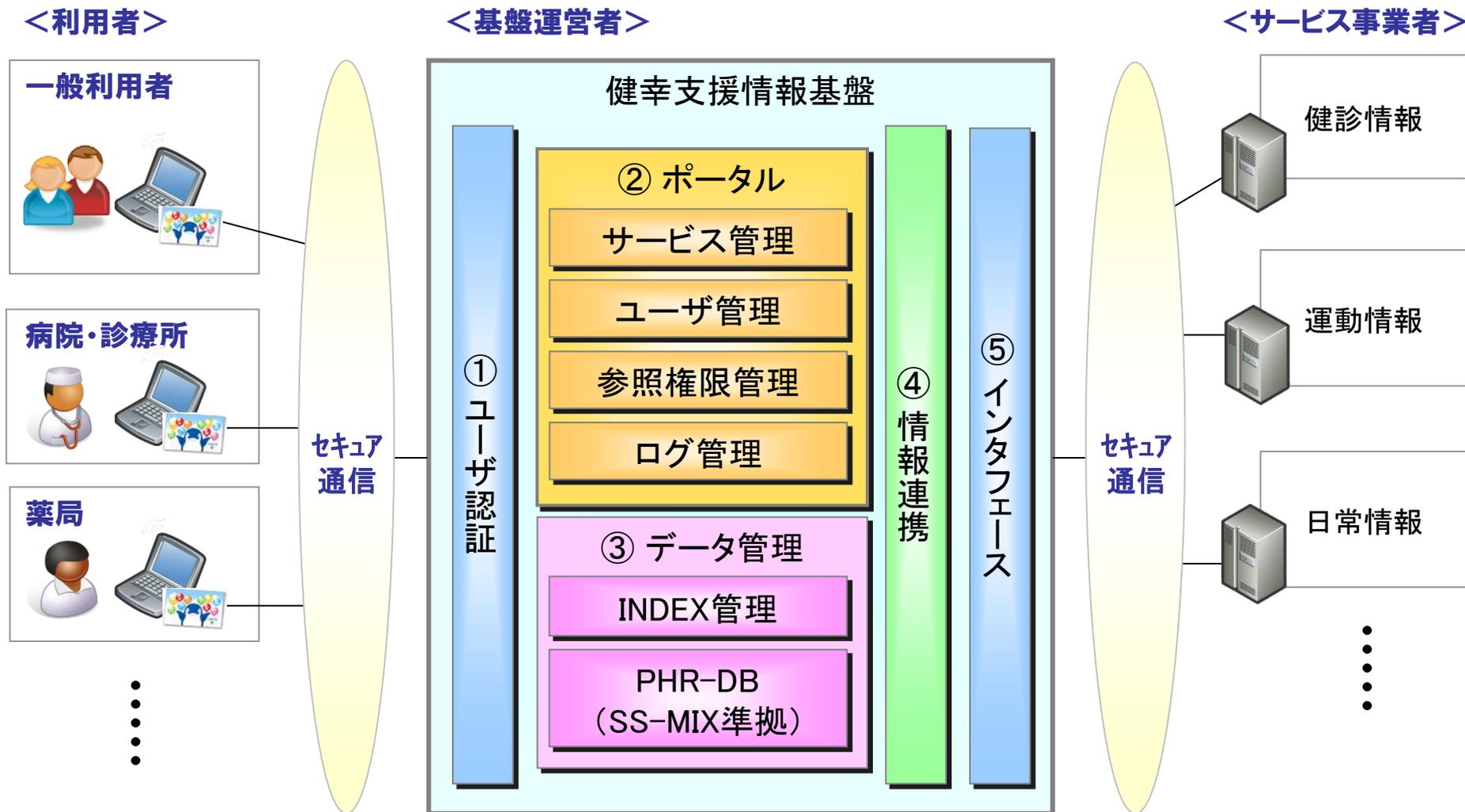
情報基盤で管理する利用者のIDと各サービス事業者固有のIDを関連付け、個人を同定して利用可能とする。

#### ⑤ インタフェース

サービス事業者等との情報の連携・中継を実現し、情報の種類に応じた標準規格ごとに準備することとなる。

## 2. 健幸支援情報基盤の概要

### ■ 健幸支援情報基盤の機能構成



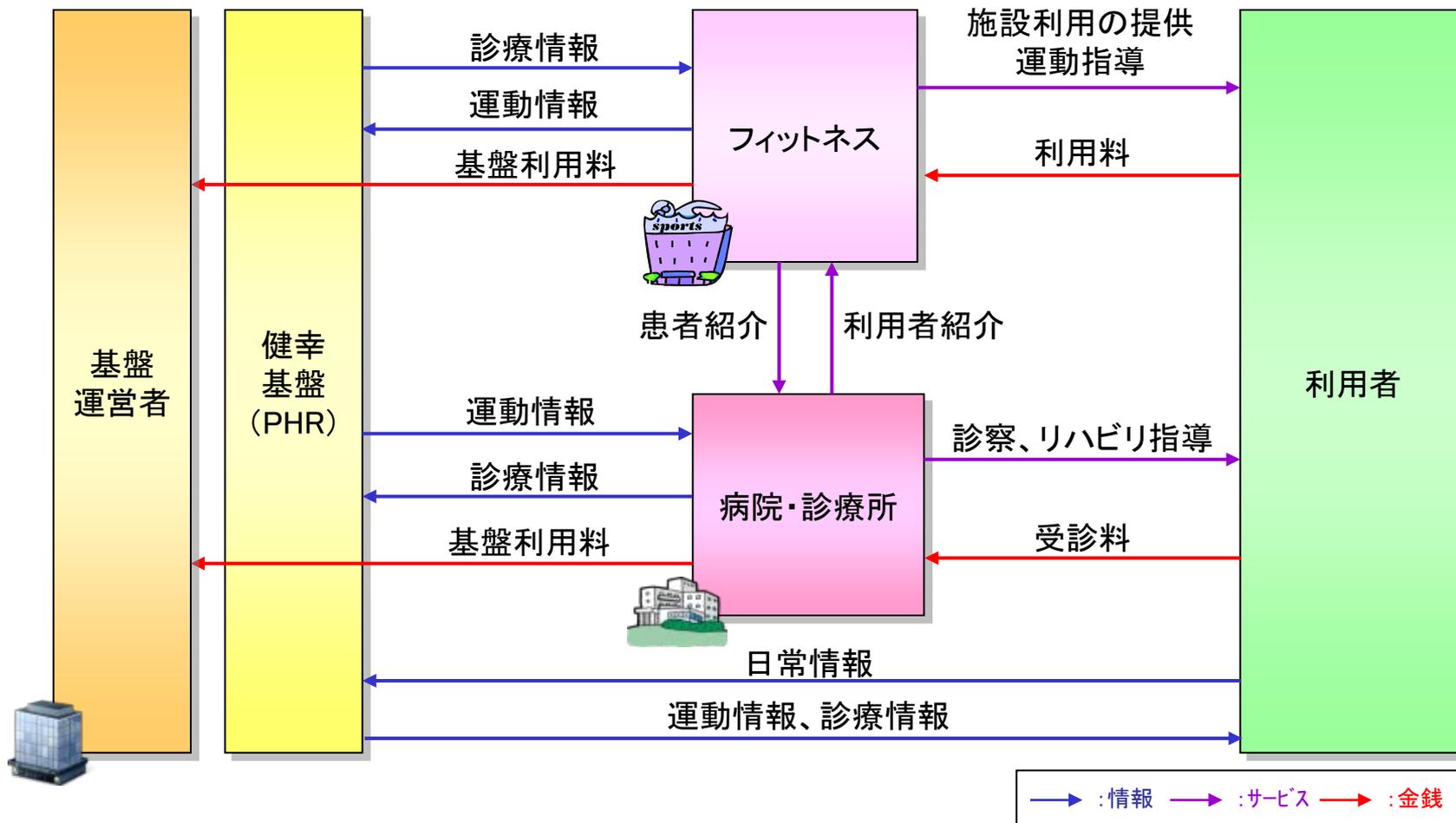
### ■ 健幸支援情報基盤のサービスのプレーヤ

情報基盤を中心としたサービスの関係者は、以下のプレーヤに分類することができます。各プレーヤの役割は以下の通りとなり、各プレーヤが相互に作用することで、業務の効率化やサービス産業の創出などを実現し、様々なサービスを提供することができると考えております。

プレーヤ	役割	動機
<div style="border: 1px solid black; background-color: #90EE90; padding: 5px; text-align: center;">利用者</div> <p>「サービスを利用する人」</p>	<p>本事業に参加し、各サービス事業者を通じてサービスを利用する。また、WEBポータルにアクセスして自身の情報の登録・照会・削除や情報の提供先を管理し、健康・医療に関わる様々なサービスを利用して健康管理を行う。</p>	<p>健康志向 より適切な健康・医療サービスを受けられる期待 参加インセンティブによる医療費などの削減</p>
<div style="border: 1px solid black; background-color: #FFB6C1; padding: 5px; text-align: center;">サービス事業者 (情報提供者)</div> <p>「情報を提供する人」</p>	<p>サービス事業者(情報利用者)の要求・利用に基づいて情報基盤を活用して情報を登録する。また、自らが情報利用者の立場としてサービスを提供する場合もある。</p>	<p>顧客満足度の向上 サービス産業の創生 情報提供・利用の相互業務円滑化</p>
<div style="border: 1px solid black; background-color: #FFB6C1; padding: 5px; text-align: center;">サービス事業者 (情報利用者)</div> <p>「サービスを提供する人」</p>	<p>利用者の要求・利用に基づいてサービス事業者(情報提供者)から情報の提供を受け、利用者へのサービス提供を行う。また事業者間での情報の連携によって効率的・効果的なサービスの提供を行う。その場合、情報提供者の立場として情報を提供する場合もある。</p>	<p>疫学研究や治験などの共同研究 業務効率化・医療資源の最適化 情報利用・提供の相互業務円滑化</p>
<div style="border: 1px solid black; background-color: #FFFF00; padding: 5px; text-align: center;">基盤運営者</div> <p>「情報基盤を管理する人」</p>	<p>情報基盤となるシステムを保持・運用管理し、サービス事業者を通じて利用者の健康・医療情報を適切に管理する。また、利用者による情報管理やサービス事業者間の情報連携を支援する。 ※基盤運営においては社会的インフラの側面から、自治体等の公的機関への負担を求めるケースがある。</p>	<p>基盤運営費・利用料などの収益 匿名化情報の共同研究 ポータル利用者の増加・サービス事業者の増加</p>

## ■ 病院・診療所とフィットネスの協業サービスモデル例

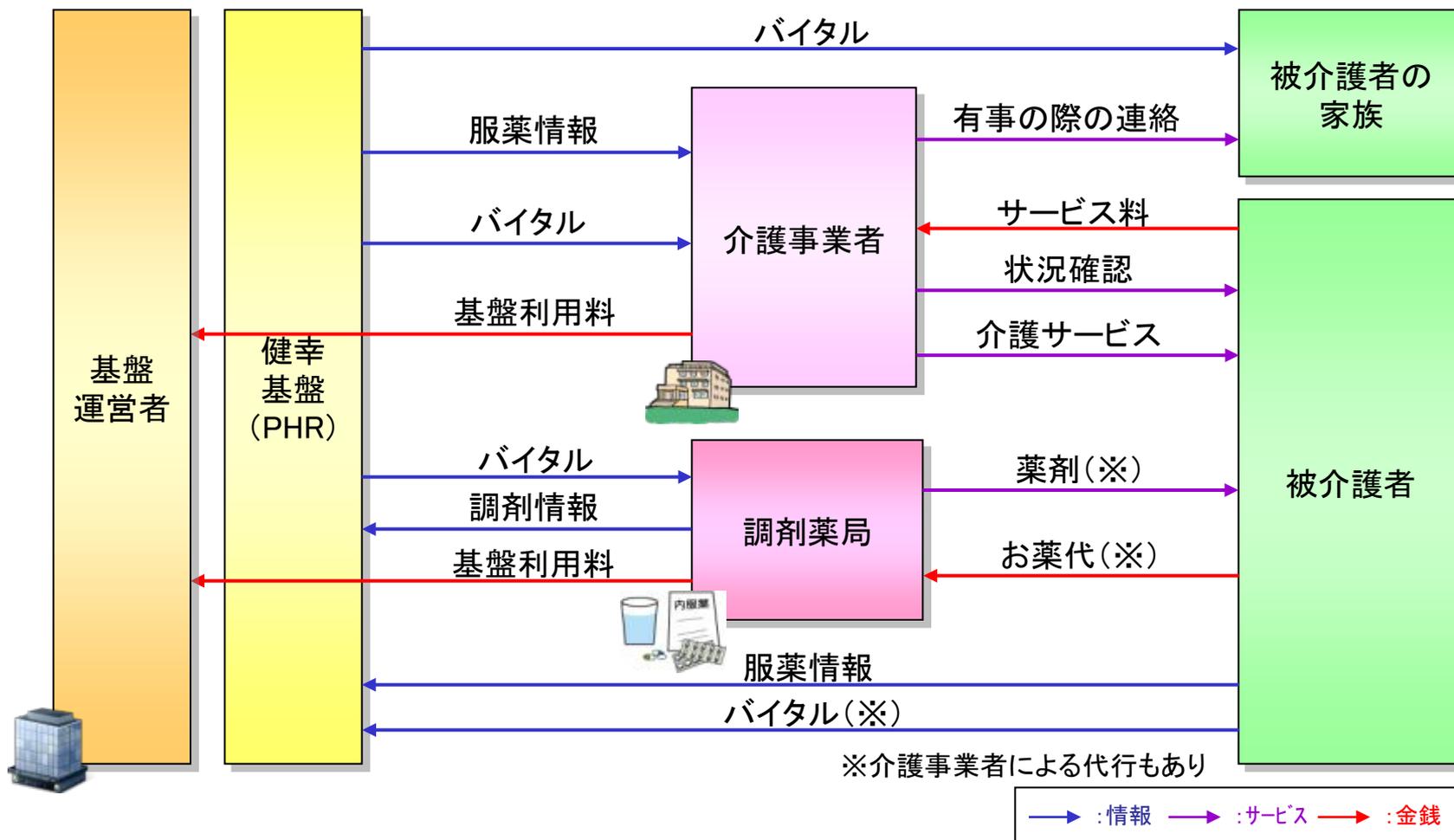
患者(利用者)の様態に応じて、病院・診療所とフィットネスが利用者(患者)を相互紹介するとともに、健幸基盤を介してそれぞれの診療情報や運動情報を共有することで、質の高い診察・運動の指導を提供する。



### 3. 健幸支援情報基盤を活用したサービスモデル例

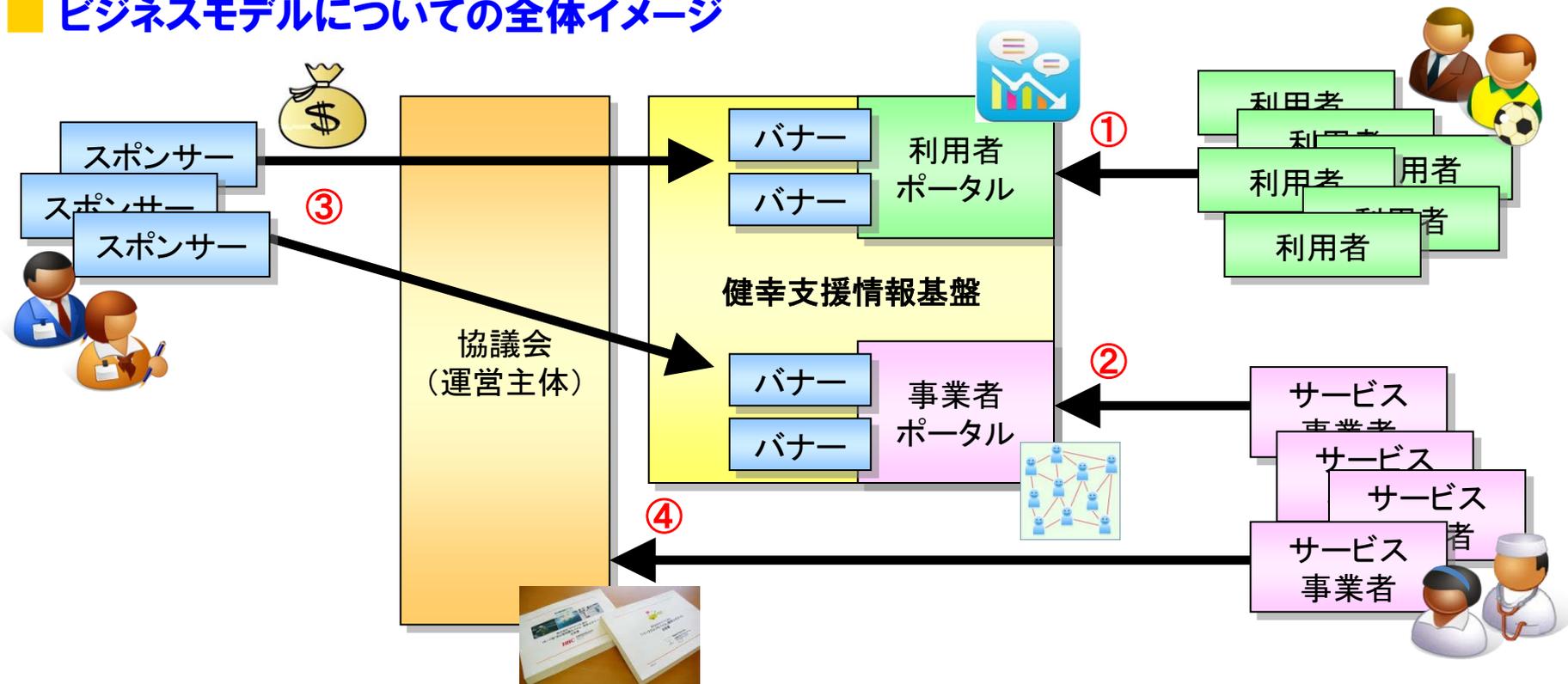
#### ■ 介護事業者によるPHRを活用した安心見守り在宅介護サービス

健康基盤 (PHR) に蓄積される被介護者の服薬情報やバイタル等を参照して活用することで、被介護者及びその家族へ安心感を与える在宅介護サービスを提供する。



# 4. 健幸支援情報基盤を活用したビジネスモデル案

## ■ ビジネスモデルについての全体イメージ



- ① ゲーム性のあるヘルスケア関連のコンテンツを提供し、利用者の参加を促進してはどうか。
- ② サービス事業者（医療・健康機関を含む）のスタッフの交流の場としてSNSを提供し、プロフェッショナルの参加を促進するとともに、事業者（スタッフ）間の人的つながりを形成してはどうか。
- ③ ①②へ向けたバナー広告を提供するスポンサーを募り、健幸基盤の運営資金としてはどうか。
- ④ 健幸基盤の運営主体となる会議体、協議会等を設立し、各種レギュレーション（技術仕様、セキュリティポリシー、サービス申請方法など）を作成し、サービスの持込み企画を受け付ける。